

つなげてみませんか……
光の架け橋



公益財団法人 兵庫アイバンクだより

クリアリヒト

公益財団法人 兵庫アイバンクだより

クリアリヒト

献眼連絡先

 **0120-69-1010**

〈年中無休・24時間受付〉

公益財団法人 **兵庫アイバンク**

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-2 神戸大学医学部付属病院内

TEL 078-382-6046 FAX 078-382-6723

E-mail: info@hyogo-eyebank.or.jp



26

2022年度



クラリヒト

目次

1	ごあいさつ	
	公益財団法人兵庫アイバンク理事長	片上千加子 …… 1
	兵庫県眼科医会会長	古川 清実 …… 2
	ライオンズクラブ国際協会335-A地区ガバナー	浜原 正豊 …… 3
	ライオンズクラブ国際協会335-D地区ガバナー	濱本嘉代子 …… 4
2	角膜移植とは	5
3	提供意思を尊重するには	8
4	事務局だより	12
5	2021年度 事業報告	
	2021年度 統計	13
	献眼者	13
	啓発活動・講演会・講習会・学会発表	13
6	賛助会員について	17
7	2021年度 寄附者	18
8	登録について	21
9	兵庫アイバンク顧問・理事・評議員	23



患者様、献眼者様の 思いに寄りそって

公益財団法人兵庫アイバンク 理事長
兵庫県眼科医会 監事

片上千加子

兵庫アイバンク設立当初より理事を務め、2018年4月より理事長を拝命いたしました。

眼科医として、角膜移植手術も30年以上にわたり執刀させていただいてきました。

ある患者様は、15年前に角膜が菲薄化し穿孔をきたした状態に対し、早急に手術が必要で、3日後にドナーが見つかり角膜移植を施行しました。その方は3年前の兵庫アイバンク設立25周年記念式典にて、「今もこの角膜が私の左眼を支えています。アイバンクに対する理解が深まり、角膜を待っておられる一人でも多くの方に光ある生活が訪れますようお願いしています」と述べられました。この方は今も定期的に受診され、15年を経た現在も角膜は透明性を保持しています。

角膜移植を希望される患者様は、アイバンクに登録後、手術を受けるまでの待機期間は、時には4～5年になることもしばしばです。

iPS細胞をはじめとする新しい治療法が開発されていますがiPS細胞で可能な角膜移植は上皮移植、内皮移植のみで角膜の大部分を占める実質層の作成は現段階ではきわめて困難であり、大多数の角膜移植には献眼していただく角膜が今なお必要です。

献眼を賜りましたご本人とご遺族の方の思いと、角膜移植を受けられた方の喜びと感謝のお気持ちを、双方に伝える橋渡しをさせていただき、また近隣他府県アイバンクとの連携体制の構築を図り、心の通い合うアイバンクをめざしコーディネーターとともに全力を尽くしてまいります。

アイバンク発足当初から多大なるご協力をいただいておりますライオンズクラブの方々はじめ皆様方の更なるご支援を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



兵庫アイバンクの理事を 拝命して

兵庫県眼科医会 会長
古川 清実

本年度より兵庫県眼科医会の会長を務めております 古川清実 と申します。

今回 兵庫アイバンク の理事に御指名いただき大変光栄に存じます。

角膜は目の構造上真っ先に光が到達する部位です。その入り口となっている処の障害のために視力を失っている方が大勢いらっしゃいます。角膜疾患にあらゆる薬物治療などを尽くしても視力が回復できないときに角膜移植が行われます。そのためにはドナーの方、及びその御遺族の崇高な御意志によりはじめて施行されえるものです。今回、兵庫アイバンクの理事を拝命し兵庫県眼科医会を代表し少しでもそのお役にたてれば幸甚に存じます。



ライオンズクラブ国際協会 335-A地区より

ライオンズクラブ国際協会335-A地区
地区ガバナー L.浜原 正豊

ライオンズクラブ国際協会は、メルビン・ジョーンズにより1917年にアメリカ・シカゴで誕生しました。

「ウィ・サーブ(われわれは奉仕する)」をモットーとして掲げ、世界の国々で様々な人道的奉仕活動に取り組んでいる世界最大の奉仕団体です。世界では200以上の国と領域で140万人、日本では約10万人 2800のクラブ数、335-A地区(兵庫県東部)では約1800人69のライオンズクラブが活動しています。

ライオンズクラブは設立間もないころから視覚障がい者支援に力を注いできました。角膜移植により失明された方の視力を取り戻せることは本当に素晴らしいことです。今後も継続して献眼登録の呼びかけに尽力していきたいと思っております。



ライオンズクラブ国際協会 335-D地区より

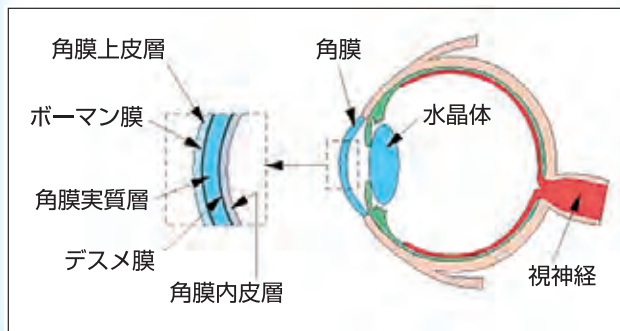
ライオンズクラブ国際協会335-D地区
地区ガバナー L. 濱本嘉代子

私たちは「見る」という能力で、景色だけでなく人の感情や料理の味まで感じています。私たちが生まれながらにその能力を持っている事、それは当たり前ではありません。「感謝」の対義語は「当たり前」です。「見る」事は当たり前ではなく、与えられた素晴らしい能力です。そこに感謝の気持ちを持ち続けなくてはなりません。ライオンズの1925年の国際大会において、ヘレンケラー女史が「ライオンズよ盲人のために暗闇と闘う騎士になってください」と訴えられ、それから私たちライオンズクラブは視覚障害に対し、精力的に支援に事業に取り組み続けています。「見る」という能力を持つことができなかつた方、失ってしまった方、献眼という活動は、その人たちにその能力を与えられる可能性があります。皆様が様々な事を見て、感じる事ができたその瞳を、どうか感謝と共に、その先も、暗闇の中にいる人の瞳として、その能力を継承してください。与えられた事に対する感謝の気持ちと共に、まだ「見る」ことのできる瞳をどうか未来の光として提供してください。私たちライオンズクラブは大きな愛と感謝と共に、暗闇と闘う騎士で在り続けましょう。

角膜移植とは？

角膜の働き

角膜は透明な5層構造の膜であり、眼球に光を取り入れる入口としての役割と水晶体とともにピント調節をする役割を持っています。病気やけがにより角膜が濁ってしまい角膜本来の透明性を失ってしまうと眼の中に光を取り入れることが出来なくなってしまいます。このような場合に角膜移植が必要となります。



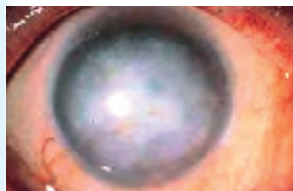
適応疾患

水疱性角膜症



角膜の裏側には内皮細胞という角膜の水分を汲みだすポンプの役目をする細胞層がありますが、この細胞の機能が低下すると角膜は水ぶくれ状態になりすりガラスのように濁ってしまいます。この状態を水疱性角膜症といいます。加齢でも起こりますが、眼の手術（白内障・緑内障手術など）により起こる事もあります。

角膜白斑



幼少期にはしかやトラコーマなどで炎症が起こり、角膜が濁ってしまった場合、または、角膜ヘルペスの治療後に混濁が残った場合、細菌・真菌感染などで角膜が薄くなったり混濁が残ったりした場合に角膜移植が必要になります。

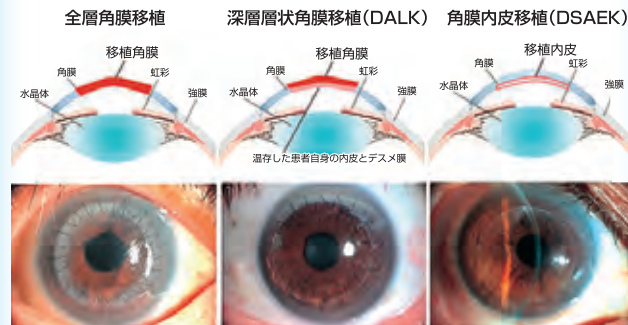
円錐角膜



思春期に好発する角膜変性疾患で角膜中央部が薄くなり、前方に突出します。高度に進行しコンタクトレンズでは矯正視力が十分にでない、突出部に混濁が生じた場合に角膜移植が適応となります。

治療について

角膜移植の種類



全層角膜移植

角膜の混濁が強く内皮細胞も弱っている場合、角膜全層を切除しドナー角膜を移植します。最も基本的な方法で手技も安定しています。

表層層状角膜移植・深層層状角膜移植

内皮細胞の機能が残っている場合、濁った表層部分のみを切除しドナー角膜を移植します。内皮型拒絶反応の心配がありません。やや手技が難しく、手術中全層角膜移植に変更する場合があります。

角膜内皮移植

水疱性角膜症では内皮細胞のみが必要であり、角膜周辺部に開けた数ミリの切開創から内側の内皮層のみを取り除き、ドナー角膜を移植します。この数年前に開発された方法で角膜移植後の高度の乱視を防止でき、手術後早期から良好な視力が得られることがあります。

患者意思決定支援の試み

竹田 洋樹

神戸徳洲会病院副院長の竹田洋樹と申します。2021年に着任するまで当院では献眼をはじめ臓器組織提供に対応できる部署はありませんでした。約1年をかけて献眼・臓器組織提供(以後臓器提供とします)に対する体制整備の取り組みをおこなったので紹介いたします。

当院に赴任した時、「以前、遺族の方が臓器提供意思表示カードを持ってきたけど、どうすればいいかわからなくてそのままになった」という話を看護師から聞きました。悲しい出来事です。本人も無念だろうし、家族も無念、そして対応した病院スタッフも無力感に苛まれたことでしょう。知っていれば対応できたかもしれないのに。

患者や家族から臓器提供について質問されたとき、どのように対応したらよいか?知っているか、知らないかで大きく変わります。

現在の病院で臓器提供の体制整備をはじめた話を紹介するにはまず、私自身の臓器提供にかかわる歴史をお話する必要があります。

骨髄ドナー

私はもともと小児科医で初期の15年は主に小児がんの診療にかかわっていました。多く



の骨髄移植にかかわり、家族間の骨髄移植だけではなく骨髄バンクを介した移植にもかかわったことから2009年には自身も骨髄バンクに登録し実際にドナーともなりました。骨髄提供は生きている状態での臓器提供であり全身麻酔による生命のリスクはあったため、まだ小さな子供を抱えている時でしたので家族の反対にはあいました。話し合いの末なんとか納得してもらい骨髄提供をおこないました。



小児専門病院の臓器提供院内体制整備

ひょんなことから2011年に兵庫県立こども病院の小児救急集中治療センターの責任者となりました。その前年2010年に改正臓器移植法が施行され15歳未満のこどもからも臓器提供ができるようになりました。救急車で来院し治療の甲斐なく残念ながらもなる子どもたち、その家族から臓器提供の希望があった場合に我々は希望を可能な限り叶えるために対応しなければなりません。2010年まで小児からの脳死下臓器提供がありえなかったため死後臓器提供に関する院内体制整備が急がれました。

まずは全病院職員に兵庫県立こども病院がこどもの死後臓器提供に対応する準備を開始すること病院職員として協力してもらいたいということをお話ししました。

患者の死についてだけでも病院職員にとってはセンシティブな話題であり、脳死そして臓器提供についての話には個人によって



価値観が一致しないことから職員間に波紋を広げたことは間違いありません。

ただ、職員に臓器提供に関するアンケートをとると「あなたは死後臓器提供という医療に関してどう思っているか?」に対しては「反対」が40%いましたが、「あなたの目の前の患者とその家族が『死後臓器提供したい』という意思を持っている場合に病院職員として協力するか?」という質問に対しては「したくない」という回答は0%でした。

つまり病院職員は死後臓器提供に関してさまざまな個人的な考えはあるとしても患者の意思をかなえるためには全力で協力するということをあらわしていました。そこからマニュアル作成と改訂やシミュレーションを繰り返しながら臓器提供に関する体制づくりを行うことができました。その後勤めた病院はすべて5類型病院であったため脳死下臓器提供の体制整備に従事してきました。

神戸徳洲会病院の臓器提供院内体制整備

現在勤めている神戸徳洲会病院は5類型施設ではないので心停止後臓器提供のみが対応可能です。心停止後臓器提供の体制整備は脳死下臓器提供の体制整備よりは容易だと考えていました。しかし、マニュアル作りなどを始めたところ、心停止後臓器提供が脳死下臓器提供から法的脳死判定を除いたものではないことに気づきました。

具体的には、心停止後腎摘出は阻血時間をなるべく少なくするため、時間との勝負であり心停止を確認し死亡宣告をしたらすぐに胸骨圧迫をおこないつつ手術室に入る必要があることです。心停止はいつ起こるか分からない(昼間?夜中?10分後?1時間後?

1日後?1週間後?)ので脳死下臓器提供の様に手術室入室の予定がたたないのです。心停止後臓器提供は脳死下臓器提供よりは臓器提供に至るまでの行程は少ないですが一瞬でも気が抜けず、また摘出医が常に待機する必要があるのでその待機場所の用意も必要などいろいろと考えなければいけないことが別がありました。

一からマニュアルを作りシミュレーションもおこない、何とか「臓器提供の希望がある患者とその家族の意思をかなえる」ことができるようになったと思います。

シミュレーションに関しては「献眼のみのシミュレーション」を昨年度当院で行い、本邦初(?)の献眼シミュレーションとして当法人の新聞に掲載されました。

今後も残念ながら当院で亡くなる患者はいますが、その患者やその家族の意思をかなえることができるように院内体制整備をおこなっていきます。





事務局長兼コーディネーター

渡邊 和誉



アイバンク事業について日頃よりご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの影響で依然として移植医療だけではなく医療全体に影響を受けています。しかしながら立ち止まることなく多くの方と連携体制を強化しながら今後もより丁寧な活動を継続できますよう研鑽して参ります。

特に、移植医療に寄与して下さるお気持ちを汲むべく提供時に対応して頂く医療機関の先生方を中心として活動が滞らないように兵庫県臓器移植コーディネーターや組織移植コーディネーターらと協力、努力し活動しております。我々アイバンクの活動の根源は、移植医療に対するご理解があり、次の医療に繋げてほしいとされる方への「いのちのリレー」をさせていただく事でありませぬ。更には、兵庫県下だけの活動に留まることなく、近隣アイバンク間の連携強化・確立についてもより強靱なものとなるべく進めております。

また、2022年度より業務についてコーディネーター3名体制で活動する運びとなり、アイバンク活動が更に活気あふれるよう展開したいと考えます。一人でも多くの方の幸せと光を取り戻すことのできる感動をお届けするため、スタッフ一同、今後も鋭意努力して参ります。今後とも引き続き皆様方のご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。

2021年度 事業報告

2021年度統計

	登録者	献眼者	
開設以来累計 (2022年3月末)	2021年 4月	0	0
	5月	0	2
	6月	1	1
	7月	1	0
	8月	4	1
	9月	1	2
	10月	6	2
	11月	2	2
	12月	1	1
	2022年 1月	0	1
	2月	0	0
	3月	4	1
合計	20	13	登録者 17,694名 献眼者 478名

献眼者

2021年4月1日から2022年3月31日までの間に、13名の方よりご提供いただきました。

謹んでご冥福をお祈りいたしますと共に、深く感謝申し上げます。

啓発活動・講演会・講習会・学会発表

〈公益事業1〉眼球のあっせん等に関する事業

(1) 献眼する者の募集及び登録に関する事業

- ・登録パンフレットを県内医療機関、関係各所へ配布した。
- ・登録希望者への登録申し込みの受付、登録カードの発行を行った。
- ・定期的に献眼登録者の現況確認と整理を行った。

新規眼球提供登録者数 20人 (昨年度比-17名)
 移籍・取消者数 127人 (昨年度比+10名)



(2)提供される眼球の摘出、検査、保存及びあっせんに関する事業

- ・医学的ドナー情報が29件(昨年度比-12件)あり、13名(昨年度比+1名)から提供頂いた。
- ・提供眼球に対し医学基準に沿って検査・あっせんを行い、角膜移植術29件(昨年度比-5件)(内:角膜内皮移植術9件(昨年度比+2件))、強膜移植術及び緑内障手術に66件(昨年度比-3件)施行された。

(本年度あっせん施設:17施設)

あさざり病院・加古川中央市民病院・かなもり眼科・木村眼科内科病院・京都府立医科大学病院・慶應義塾大学病院・神戸市立アイセンター病院・神戸大学医学部附属病院・国立長寿医療研究センター・新長田眼科病院・スワンカイバナ眼科クリニック・製鉄記念広畑病院・ツカザキ病院・東京歯科大学市川総合病院・東京慈恵医科大学附属病院・東邦大学医療センター大森病院・兵庫医科大学病院 (50音順)

- ・移植希望者の募集及び登録
移植を希望する医療機関より移植申し込みを受け、移植待機リストを作成した。

(3)献眼及び角膜移植に関する知識の普及啓発事業

- ・神戸大学医学部附属病院院内コーディネーター連絡会議(月1回開催)に渡邊が参加し、移植医療システムの構築及び啓発活動を行った。
- ・神戸市立医療センター中央市民病院臓器提供連携会議に渡邊・中野が参加した。(月1回開催)
- ・戸徳洲会病院臓器・組織提供連携会議に渡邊・中野が参加した。(月1回開催)
- ・西脇病院院内コーディネーター会議に渡邊・中野が参加した。(月1回開催)
- ・兵庫県コーディネーター連携会議に渡邊・中野が参加した。(月1回開催)
- ・アイバンク発展のために医学基準や運営連携の強化のため京都府立医大アイバンクの指導を渡邊が行った。
- ・アイバンク発展のために医学基準や運営連携の強化のため(一財)奈良県アイバンクの指導を渡邊が行った。
- ・アイバンク発展のために医学基準や運営連携の強化のため(公



財)岡山県アイバンクの指導を渡邊が行った。

- ・神戸大学医学部保健学科生対象の移植管理学の講義「移植コーディネーターの実務」を渡邊が行った。(5月10日)
- ・兵庫県臓器移植院内コーディネーター研修会に渡邊・中野が参加した。(5月15日)
- ・神戸大学医学部医学科・保健学科生対象の現代医療と生命倫理の講義「移植医療と権利について」を渡邊が行った。(5月18日)
- ・神戸大学医学部附属病院脳死判定シミュレーションに渡邊・中野が参加した(7月15日)
- ・神戸大学医学部附属病院手術部シミュレーションに渡邊が参加した。(8月30日)
- ・兵庫県臓器提供懇話会に渡邊・中野が出席した。(9月17日)
- ・神戸総合医療専門学校にて「角膜移植とアイバンク」の講義を渡邊が行った。(10月12日)
- ・兵庫浜道角膜ドライアイGymに片上理事長・平松副理事長・渡邊が参加した(10月12日)
- ・神戸徳洲会病院移植フォーラムに渡邊・中野が参加した。(12月10日)
- ・神戸大学医学部附属病院移植医療フォーラムに渡邊・中野が参加した。(12月20日)
- ・広島県院内コーディネーター研修会に渡邊・中野が出席した。(1月27日)
- ・日本組織移植学会コーディネーター合同セミナーに渡邊・中野が出席した。(1月29・30日)
- ・西脇病院院内研修会に渡邊・中野が参加した。(2月10日)
- ・広島県院内コーディネーター研修会に渡邊・中野が参加した。(3月2日)
- ・神戸徳洲会病院にて献眼シミュレーションに渡邊・中野が参加した。(3月18日)
- ・兵庫浜道角膜ドライアイGymに片上理事長・平松副理事長・渡邊が参加した(3月24日)
- ・神戸徳洲会病院にて手術室提供シミュレーションに渡邊・中野が参加した。(3月26日)



〈公益事業2〉 眼の衛生に関する普及啓発事業

(1) 機関誌の発行事業

- ・原稿を各所に依頼し、「クラリヒト」を10月に発刊した。

(2) 眼の衛生に関する啓発事業

- ・公益財団法人生きがい創造協会にて「目の健康」と題して平松副理事長が講演した。(4月20日)
- ・神戸市北区薬剤師の皆様方対象に「矯正視力と色覚異常の話並びに角膜移植の現状」と題して平松副理事長が講演した。(7月1日)
- ・神戸女学院にて「知っておきたい目の病気と最新治療」について片上理事長が講演した。(9月11日)
- ・兵庫県眼科医会設立70周年式典に片上理事長・平松副理事長・渡邊が出席した。(10月17日)
- ・子どもの居場所づくり交流会2021にてアイバンク活動について平松副理事長が紹介した。(10月22日)
- ・龍野ライオンズクラブ60周年記念式典にて片上理事長、平松副理事長が参列し、アイバンク活動への理解と高額寄附者に対し感謝状を贈呈した。(3月20日)

〈その他〉

- ・定款に従い理事会・評議員会を開催し、企画立案・実施をした。
- ・アイバンク事業の拡大と将来性の担保に伴う活動ならびにコーディネーターの養成を積極的に行った。
- ・神戸アイセンター内にヒト組織専用ラボとして参入した。
- ・京都府立医大アイバンクを筆頭とする近畿圏におけるアイバンク活動の指導並び連携強化について積極的に活動した。
- ・(公財) 岡山県アイバンクとの業務連携により移植医療連携が強化された。

賛助会員ご加入のお願い

アイバンクは皆様からの善意やご協力によって事業が行われております。

現在、兵庫県内のみで約400人の方が角膜移植を必要としているといわれ、事業の運営を円滑に行うためには皆様方の多大なるご支援が必要です。

皆様方に広くご協力を賜り、一人でも多くの方が一日でも早く社会復帰されることを願っております。

賛助会員にご賛同くださる方は会員規約および入会申込書をお送りさせていただきますので、事務局までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

兵庫アイバンク TEL 078-382-6046

賛助年会費

団体会員 1口 10,000円
個人会員 1口 3,000円

兵庫アイバンクでは、広く関係方面からの事業活動へのご支援を頂くための賛助会員制度を設けています。
当アイバンクの事業目的に賛同される企業、団体等の法人・個人の方は、年会費を納入されることにより、賛助会員となります。

お名前が表示について直近のお振込時にご承諾頂いた方を掲載しております。

(敬称略 入会順)

団体

川西ライオンズクラブ	芦屋東ライオンズクラブ
三田ライオンズクラブ	国際ソロプチミスト神戸東
尼崎ライオンズクラブ	阪神道路開発株式会社
尼崎南ライオンズクラブ	大屋ライオンズクラブ
神戸あじさいライオンズクラブ	株式会社外林ウエルネスサポート
宝塚ライオンズクラブ	バイエル薬品株式会社
なかお眼科	明石セントラルライオンズクラブ
南淡ライオンズクラブ	稲美ライオンズクラブ
姫路西ライオンズクラブ	兵庫県眼鏡専門小売協同組合

個人

稲井 信男	土肥 幸嗣	加納 秀樹	川村 素子	藤田 幸三
杉山 治代	長高 昌駿	森西 丸明	村谷 敬信	田中 敏樹
野村 登	高橋 珠美	小西 久登	福谷 雅三	古田 敏子
坂牧弓絃(坂牧眼科)	吉田弘俊(吉田眼科)	小林 英行	伊藤朝倉	岡田 繁
下田 和子	垣谷 珠美	小茂 吉枝	神津 久斗	片岡 林
瀬戸 聖三	石橋 喜久	吉田 邦治	島津 久斗	小繁 根
竹内 静	武田 好嗣	中西 雅一	久保 妙子	山根 水
廣内 逸郎	冲野 治雄	橋本 康和	保田 清	谷本 春
廣橋 岳登	中谷 隆	扇 康和	芳睦 清	木本 志
上月 昭洋	岡谷 藤	柳 中	清一 道	山田 景
村林美奈子	藤田 和子	川内 竹		
小東 久夫	市橋 紀夫	藤		

寄附者

(2021年4月1日～2022年3月31日まで)

眼科・診療所

(敬称略 五十音順)

諸先生方には、ご支援、募金箱設置にご協力をいただき、また、患者様より真心の募金を賜り深く感謝申し上げますとともに、ご芳名を掲載させていただきます。

明石市立市民病院 辻村まり	長田眼科医院 長田温	新長田眼科病院 山中弘光	広野高原病院 安田嘉之	溝上眼科 溝上淳二
明石同仁病院	かごたに眼科 籠谷保明	せのお眼科医院 妹尾健治	平林眼科クリニック 平林宏章	みどりの眼科クリニック 木戸啓文
浅井眼科医 浅井利通	金井眼科 金井清和	たきの眼科クリニック 森哲	平松眼科医院 平松邦夫	宮代眼科 宮代美樹
芦田眼科 蘆田容子	かなもり眼科クリニック 金森草泰	谷眼科医院 谷恵美子	福井クリニック 福井きよか	村井眼科 小坂敏哉
あだち眼科 安達功	眼科クリニック田岡 田岡信明	田村眼科 田村泰	藤井眼科 藤井啓誠	むらた眼科 村田吉弘
今泉眼科 今泉正徳	眼科 多木医院 多木大輔	土井眼科 土井治道	ふしい眼科クリニック 藤井雅彦	森眼科 森健司
医療法人社団 小児科神沢クリニック 神沢光江	菊地眼科 菊地雅史	兜坂眼科医院 兜坂法文	藤澤眼科医院 藤澤直子	森松眼科 森松幸子
医療法人社団 福島会 生野院 綱島治子	木下病院 木下香代子	鳥羽眼科医院 鳥羽幸雄	藤澤眼科クリニック 藤澤久美子	安井眼科 安井紫都子
いわき眼科クリニック 岩脇卓司	木村眼科医院 木村良平	ないとう眼科 内藤公子	藤永眼科 藤永博	山名眼科医院 山名敬庸
梅津眼科 梅津秀夫	小林眼科 小林定男	なか眼科 中実恵子	ふじわら眼科 藤原由延	山本眼科 山本正朗
宇山眼科 宇山淳	小山眼科医院 小山英治	なかお眼科 中尾寛	別府眼科クリニック 別府英明	山本眼科医院 山本成章
えの眼科 西あしやクリニック 繪野亜矢子	さいとう眼科 斎藤喜博	なかに眼科クリニック 中西頼子	宝青院眼科医院 小田豪	吉田眼科 吉田弘俊
おおすぎ眼科 大杉秀治	さかい眼科 坂井智代	ながの眼科医院 長野千香子	ほそい眼科 細井千草	
大塚眼科医院 大塚明	坂牧眼科 柏木洋子	仁川眼科医院 池田誠宏	まさき眼科 正城良樹	
奥村眼科医院 奥村紀子	さやお眼科クリニック 笹尾晋	いんが眼科クリニック 西村雅史	松田アイクリニック 松田聡	
	さやなぎ眼科 佐柳香織	広辻眼科 廣辻徳彦	松葉眼科医院 松葉沙織	

寄附者

(2021年4月1日～2022年3月31日まで)

団体・一般

(敬称略 五十音順)

ご支援賜りました方々に厚く御礼申し上げますとともにご芳名を掲載させていただきます。

朝セトメリアクラブ	大垣 節子	海外林エレスサポート	久保八重子	繁田 知宏
浅見 雅美	大崎美代子	日本点眼薬研究所	熊野 公子	篠崎 ひろこ
声楽ライオンズクラブ	太田 京子	上寺 晃子	倉元 光子	島津 穰平
芦田 順子	太田 久之	河合 美和	黒岩 良夫	清水谷善英
東 久夫	大寺 壽生	川市 明	黒田久美子	下副田弘文
安倍 朱美	大西タツ子	川崎 朱美	小島 雅恵	白銀 敏孝
尼崎ライオンズクラブ	大屋ライオンズクラブ	川手 明美	古東 茂美	神内 修
荒井 泰史	岡 淳子	川西ライオンズクラブ	河野医科機械(株)	数原 多作
新川 園子	岡田 洋	川満 晴美	小西 忠明	杉山 治代
池上 由規	岡林 治子	川村 素子	小林 繁	関 友子
池田奈美子	沖野 雅一	菅 由美	小林 登	千寿製菓(株)
池田 裕美	奥戸美也子	関西情報サービス(株)	小林 英夫	副島 囃義
石橋 敏江	奥村 繁夫	高井 利夫	小林 道子	園崎 仁
一隅運動極楽寺支部	小倉 澄美	神澤 正三	小林美奈子	高島 康邦
市橋 紀夫	小野ひとみ	岸田 秀樹	是枝 哲也	高野 文男
稲美ライオンズクラブ	小野 光江	岸本 泉	財家 一夫	竹内 慎吾
乾 智博	雄山 栄子	岸本 智明	財家 美鳥	竹内 清子
井上 明	小山田景子	岸本 靖子	坂上 清子	竹内 静子
井上 義章	垣谷 珠美	北村 忠司	坂牧 弓絃	竹谷 トキヨ
井下 祥子	柏岡 征和	木庭 友子	坂本 慶子	多田 博子
岩城 貞美	梶 征一郎	絹川 一郎	坂本 博	田中 秀次
後谷知世子	梶谷 郁雄	木南 岩男	佐々木 正	田中 睦子
臼田 幸子	片岡 敏樹	木南 一志	笹倉 大治	谷口 朝子
内海あや子	片上千加子	木村 滋子	定本 俊彦	谷口 與志朗
宇和 安子	加藤 修子	久斗 数廣	佐野 洋子	谷口 栄
恵谷すま子	角石 りつ子	クーパービジョン(株)	三條真由美	田野敬尹子
大井カズ子	金崎 昌子	久保 頼子	三田ライオンズクラブ	田野 卓也
大江 和子	関コーナンメディカル	久保 正敏	参天製菓(株)	田村 甫



登録について

- ・眼球（角膜）のご提供に**年齢制限はありません**。
- ・**近視、遠視、白内障、緑内障**の方でもご提供いただけます。
- ・登録していただく際に、**検査**などは一切必要ありません。

登録の手順

1. お電話またはメール (info@hyogo-eyebank.or.jp)でお名前ご住所等をお知らせ下さい。眼球提供申込書を送らせて頂きます。



2. お手元に届いた**眼球提供申込書**に必要な事項をご記入の上、アイバンクまでご返送下さい。(近親者の欄の記入もお忘れなく)



3. 登録が完了いたしましたら登録カードを送らせて頂きます。財布などに入れて常時ご携帯ください。



*登録の際に頂いた個人情報は厳重に管理させていただいており、アイバンク活動以外の目的に使用することはございません。

万一ご不幸があった時、眼球提供の事を思い出すことは難しいものです。
ご登録いただいている方でもご家族のご理解とご協力が必要です。
登録の際、よくご家族とお話いただき、お互いのご意志をお話してください。

田村 雅宏	並川 明子	原崎美智子	本田 依子	保田 妙子
辻 武義	西尾 照代	春木 陵人	前川 佳幸	柳川 芳裕
辻 康子	西岡真理子	阪神道路開発株式会社	正木美弥子	柳本 松野
辻村かずみ	西口ひとみ	稗田久美子	松田 和美	山口 智子
土井けい子	西畑 邦子	東中 香代	松田喜代司	山下 真司
土肥 富幸	西村 幸枝	兵庫県眼科医会	松田 康彦	山田 末廣
富田 竹治	新田 哲生	兵庫県眼科専門小児科病院	松田 由佳	山中 弘光
鳥田 明美	二宮 順子	廣橋 岳登	松本 正義	山根 茂彦
仲 千賀子	仁禮 丞二	深津 賢一	松本 米子	山本 京子
中井 章博	人形 寺祥弘	福井三枝子	三浦 洋佑	山本 節子
中井 友枝	野田 教一	福田 悦子	三浦 行子	山本 禮子
長久 昌嗣	野原きみ彖	福田 恵太	三木 光治	雪岡恵津子
仲里 朝之	バイエル薬品(株)	藤 美代子	水谷 正子	横見ルリ子
中島かおり	橋崎 良治	藤田 一道	見野ちよの	吉澤 恵子
中田 和美	長谷川雅夫	藤田 幸三	宮井正三郎	吉田 耕一
永田 悦子	長谷川美千代	藤田 尚子	宮崎 茂雄	吉田 英行
棗田 瑞代	長谷川豊秋	藤本 まり	三好 陽子	ライオンスクリーン 335-D地区キャビネット
中谷 治雄	橋本 紀子	船岡 康子	向井 弘	
中西よし子	秦 勝次郎	古川 道子	村井 純子	若松 健
中野 末子	服部 二郎	H O Y A (株)	村上 順子	脇田 優子
中野 正子	花田 敦子	堀 保彦	村上 七生	渡辺 資子
中原 良子	馬場 市郎	堀井 得次	村原圭伊子	渡辺 聰子
中村 裕子	濱田 基史	堀尾 恵子	森 榮枝	渡辺 林
夏見 則行	濱中 保博	堀口 清隆	森本芙紗子	匿名希望の方

当アイバンクは、2021年度に内閣府賞勲局より、公益のために私財をご寄附された方に授与される「紺綬褒章」の公益団体認定を受けており、寄附者様のご意向を確認の上、当アイバンクから内閣府に申請いたします。

●詳しくは、こちらまで

<https://www.hyogo-eyebank.or.jp/support/ribbon>

万一ご不幸があった場合には

登録がなくてもご本人の意志・ご家族の承諾によりご提供いただけます。



1. 万一ご不幸があった場合に、献眼を希望される場合はドナーホットライン

年中 無休で **アイをアイを**
0120-69-1010 にご連絡ください

年中無休で24時間コーディネーターが対応させていただきます。



2. コーディネーターがご提供についてのご説明に伺います。

* 説明をお聞きになり、提供を辞退されても全く問題ございません。
* 摘出手術が始まるまではいつでも中止することができます。



3. 提供を承諾された場合は眼球提供・採血承諾書を作成し、眼球を提供していただけます。

摘出後は義眼を挿入するのでお顔は提供前とほとんど変わりません。



4. ご提供いただいた角膜による移植手術が行われます。

アイバンクのホームページにもアイバンクの情報、角膜移植医による目のお話など様々な情報を掲載させていただいております。是非一度ご覧頂き、ご活用下さい。

<https://www.hyogo-eyebank.or.jp>

2022年度 公益財団法人兵庫アイバンク役員

● 顧問 ●

齋藤 元彦
(兵庫県知事)

久元 喜造
(神戸市長)

高橋 政代
(㈱ビジョンケア
代表取締役)

藤堂 勝巳
(公財)兵庫アイバンク
前理事長)

● 理事 ●

理事長
片上 千加子

副理事長
平松 邦夫
堀口 清隆

常務理事

五味 文
中村 誠

理事

権藤 君子
田村 雅宏
中島 かおり
長井 隆行
浜原 正豊
濱本 嘉代子
古川 清実
細谷 友雅

● 監事 ●

大石 麻利子
岡田 洋

● 評議員 ●

議長
太田 久之
副議長
山中 弘光
小林 登
小林 寛
高野 文男
瀧北 美智子
原 吉三
福田 恵太
溝上 淳二
森本 克幸

(理事・監事・評議員 役職別五十音順 敬称略)



表題

「クラーリヒト」は

「透明な光」という意味で、

この「透明な光」を取り戻していただきたい
との願いをこめてつけられました。



設立協力団体

兵 庫 県

神 戸 市

ライオンズクラブ国際協会
335-A地区

ライオンズクラブ国際協会
335-D地区

兵庫県眼科医会

公益財団法人兵庫アイバンクだより

「クラーリヒト」

No.26

発 行 2022年11月

発行所 公益財団法人 兵庫アイバンク